

No. 1618

梅まつり

——東京・世田谷——

東京世田谷区の羽根木公園で「せたがや梅まつり」が開かれました。

約8万平方メートルの園内には650本の梅の木が植えられています。桜ならぬ梅の木の下でお年寄りや家族づれ暖かい陽をあびて楽しんでいました。

また、区内の園芸組合が一万点の樹木を用意した「植木・園芸市」も人気を呼んでいました。

春を迎えて家庭でも美しい花や植物をふやしていきたいものです。

強まる自社対決色

——衆院選挙——

自民党の過半数維持か与野党逆転をかけた第39回衆議院選挙は2月18日全国130選挙区で一斉に投票が行われ、東京、神奈川、埼玉を除く109選挙区で即日開票が行われました。

社会党の選挙本部には土井委員長が陣取り、当選者の赤いリボンをつけてはカメラマンにポーズ。土井委員長は「消費税廃止への期待や自民党の金権選挙に対する怒りをこめた一票一票が当選に結びついている」とニコリ。

一方、自民党本部では小沢幹事長が当選確実のピンクのバラ、当選の赤いバラつけに大忙し。テレビ画面から自民党議員当選が決まると役員と共に拍手で応じ、安定多数を確保出来るとあって笑顔が消えない明るいムード。

翌日都市部の開票の結果、社会党は53議席増の136議席を獲得、大躍進したものの公明、民社、共産の野党三党は議席を減らし自民党を追い込むには至りませんでした。

土井委員長は「国民にお礼を申し上げたい。もう一つの山が動いたと思う」と言いながらも与野党逆転が出来なかった無念さが残るようです。

解散時より20議席減らしたものの安定多数を越える275議席を得て意気上がる自民党。首相続投の確定した海部総裁も選挙本部に顔をみせ幹部と握手やリボンつけのあと恒例のダルマへ目玉入れ。

自民本部での記者会見で海部総裁は「消費税、リクルート問題など最低の状態から安定多数の議席を獲得できて国民に感謝したい。全力で頑張る」とのべました。

自民党が衆議院では安定、参議院では野党多数のネジレ状況と自社対決色が強まる中で政局の前途は多難な様相です。